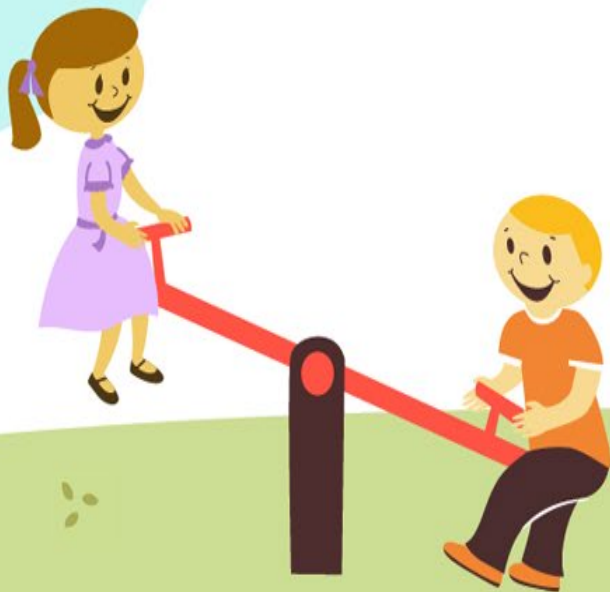


2024年度

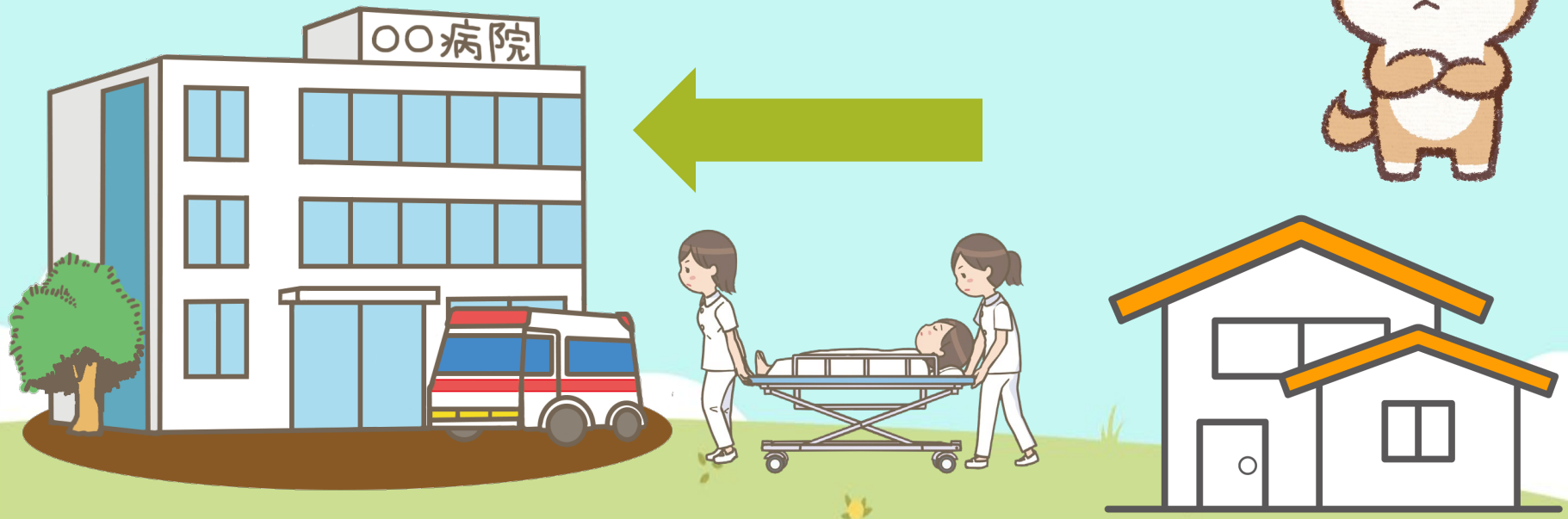
在宅療養者におけるペット飼育に関する 諸問題と対応方法についての調査研究

人間と動物の医療福祉を豊かにするための研修事業



研究のきっかけ

一人暮らし在宅療養者の入院に伴う
ペットの処遇が問題となっていた。



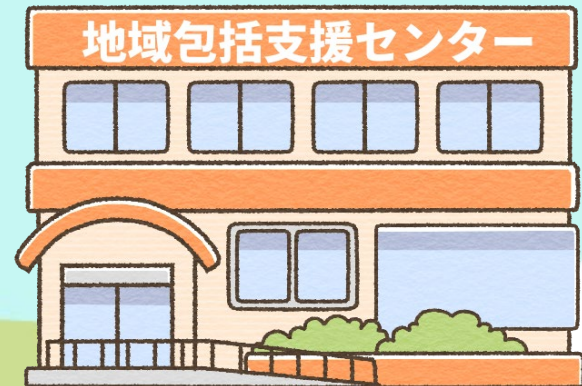
そこで

ペット飼育に関する問題の実態や対応策についてアンケートを実施
その情報をもとに先行的な地域にヒアリング

国保診療施設
(789施設)



人口1万人未満の自治体に所在する
地域包括支援センター
(529カ所)

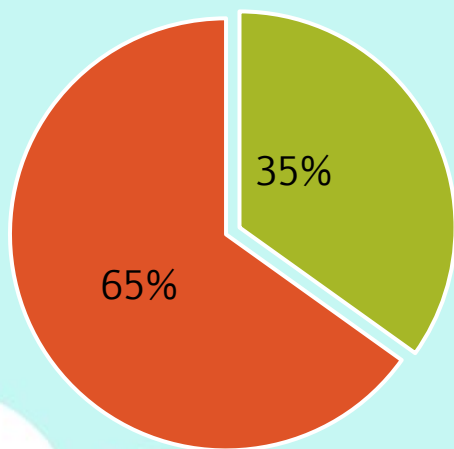


国保診療施設アンケート結果

回収率:27.2%(215件)

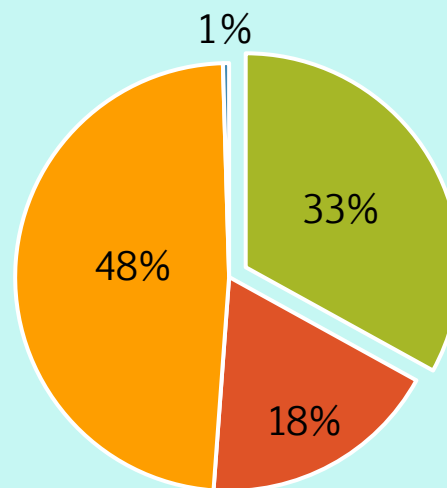


ペット飼育に関する問題や課題の有無



■ ある ■ ない

問題についての相談先



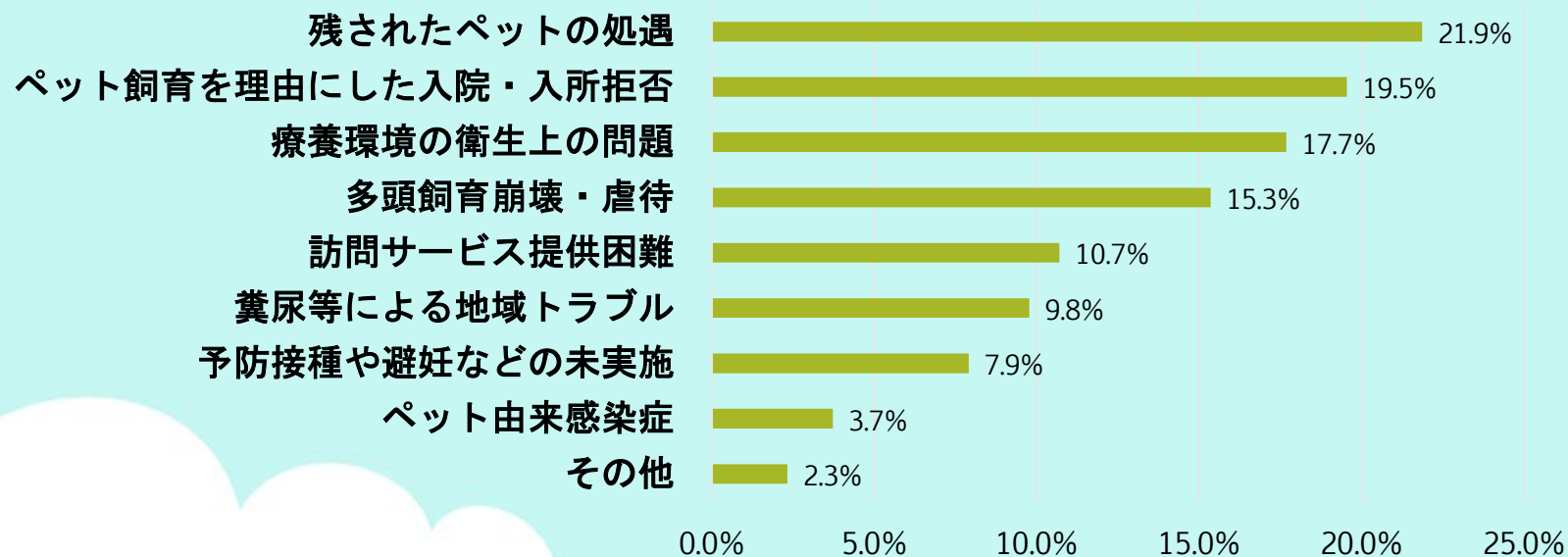
■ ある ■ ない ■ わからない ■ 無回答

国保診療施設アンケート結果

回収率:27.2%(215件)

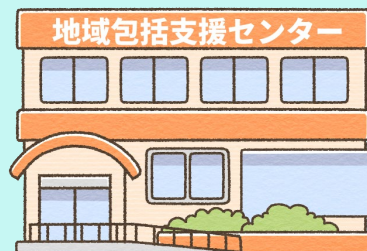


課題や問題の内容【複数回答可】 (回答数/215)

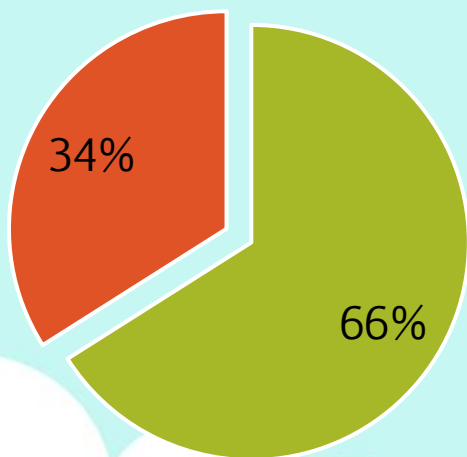


地域包括支援センターアンケート結果

回収率：19.5%（103件）

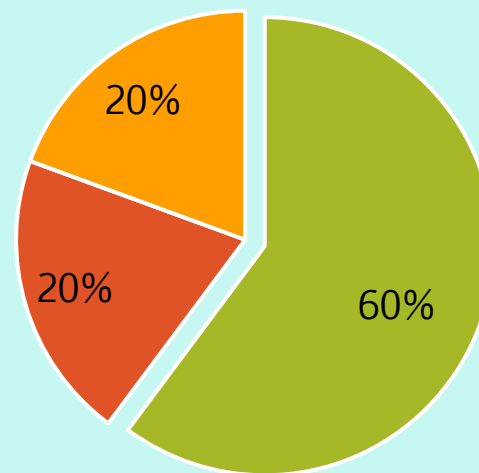


ペット飼育に関する問題や課題の有無



■ ある ■ ない

問題についての相談先



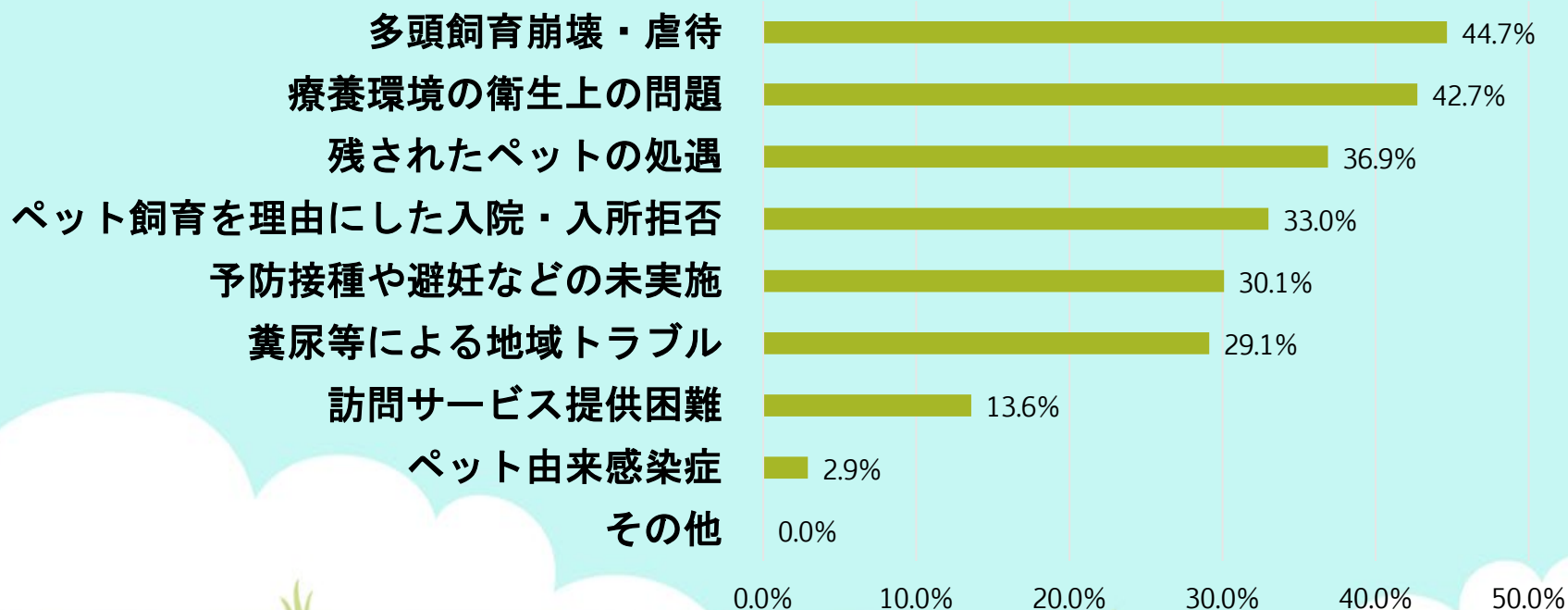
■ ある ■ ない ■ わからない

地域包括支援センターアンケート結果

回収率: 19.5% (103件)



課題や問題の内容【複数回答可】(回答数/103)



ヒアリング

ペット飼育が高齢者の精神的な支えとなるケースが多く報告。ペットの存在がリハビリの意欲向上や、入院中の患者の笑顔を取り戻すきっかけとなる。

諸問題の発生過程においては、都市部、山間部問わず貧困や孤立、身体的精神的な障害や疾患の存在など複合的な要因があることが各地で指摘。



ヒアリング

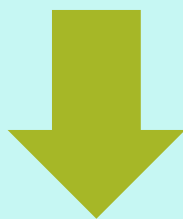
一方で相談先がわからない中、各地で心ある担当者が何とか対応しようと孤軍奮闘している。





考察

地域全体で関わる全ての人
が関心を持って取り組む必要
がある。



2025年度

**人間と動物の医療福祉を
豊かにするための研修事業**

